

米国 - 日本 「適当な場所での老後の生活」フォーラム

住宅技術と住宅改修研究
低価格住宅研究技術課

2023年2月10日

政策開発研究室
米国住宅都市開発省



重点分野

01

障壁を除去し、技術開発と採用を促進



02

情報伝達による技術移転、開発、採用の改善



03

住宅技術研究の高度化と新技術開発の促進



高齢者住宅改修補助金プログラムの評価

高齢者住宅改修補助金(OAHMP)

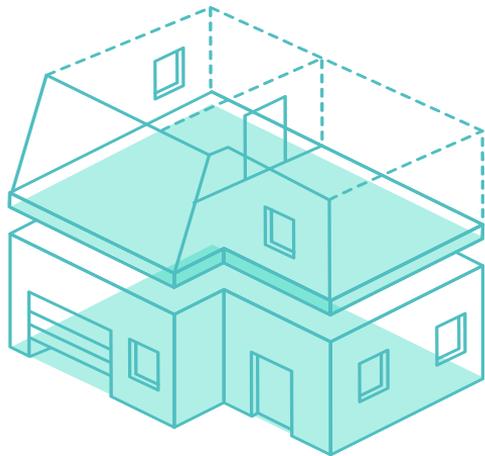
転落のリスクを軽減し、住宅内部の安全性と機能的能力を改善し、アクセス可能性を向上することを目的として、低所得の高齢住宅所有者のニーズを満たすために、安全で機能的な住宅の改修と限定的修理を行います。

プログラム評価: OAHMPは、高齢者住宅改修補助金の有効性を評価します。

- ❖ **影響評価:** 住宅の改修が高齢者の住宅所有者の健康と自立にどのように影響したのかを、採用と追求間の変化を測定することによって決定します(住宅の改修後6~9か月)。
- ❖ **プロセス評価:** (1)各被譲与者がOAHMプログラムをどのように実施しているのかを評価し、直面した課題、障壁、および成功を説明します。(2)OAHMプログラムプロセスと被譲与者が受け取る住宅の改修に関する住宅所有者の意見を評価します。
- ❖ 予備結果は2023年3月に予定されています。



1戸建ておよび非1戸建て住宅のアクセス可能な設計改良研究、 プロトタイプ試験および評価



目的:

住宅の改修ための革新的ソリューションを評価する。改修は「テスト」住宅で実施されます。ユーザー、医療提供者、および請負業者は、前記住宅の有用性を判断するために改修を評価するよう求められます。このプロセスは、設計結果、費用と利益の分析、評価、訓練、および結果の普及のために文書化（メモ、写真、ビデオ）されます。

状況:

公開する報告書を作成しています。

機器	説明
柔軟な歩み	最大5フィートの高さを変更できるプラットフォームリフトに変身する一式の階段であり、停電時の料金を蓄えます。
階段固定	押すとスライドし、体重が掛かるとその場にロックされて転落を防止する水平支持ハンドル付きの固定手すり。
支持歩み	ユーザーが転落を防ぎながら階段を上り下りでき、体重を掛けることができる固定式手すり支持
オールプッシュドア	ユーザーが両方向に押して開くことができる、ヒンジ付きの補助的フレームと2重クローザーを備えたドア

「「適当な場所での老後の生活」」コミュニティ-高齢者生活改善の促進(CAPABLE)

CAPABLE研究

ジョンホプキンス大学のCAPABLEプログラムの実施を4つの小さな組織で評価して、さまざまな種類の組織、さまざまな家庭環境、およびさまざまな背景を持つクライアントによって実施される場合、そのプログラムが実現可能で、適切であり、成功するかどうかを判断します。

結論

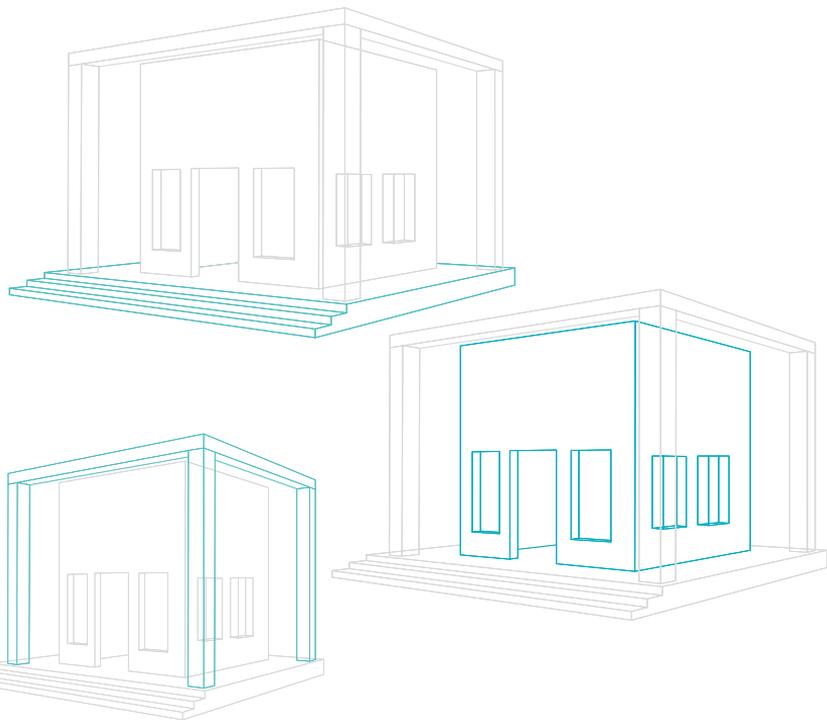
- ❖ 介入により、ADL制限、転落回数、通常の活動による痛み障害、転落への恐怖、鬱病スコア、日常生活の道具的活動(IADL)が減少しました。
- ❖ 生活空間分析や入院数に改善は見られませんでした。
- ❖ CAPABLEプログラムは、さまざまなコミュニティ環境での実施に適しています。

状況:

HUDUser.govで入手可能な報告書



公正住宅法設計マニュアル第2版



目標:

HUDの公正住宅法設計マニュアルをアップグレードおよび拡張

目的:

この改訂された最新版は、公正住宅法に準拠した住宅を設計および建設方法について、明確で役立つガイダンスを提供します。法律の対象となる複数世帯住宅の設計と建設に組み込む必要がある法律のアクセス可能性要件について説明します。

状況:

請負業者は、公正住宅法設計マニュアルの現在の1989年版を見直し、現在の設計慣行と建築基準と一致するように必要な改訂を行っています。

現在の報告書は、HUDUser.govで入手できます

シカゴのCDBGが資金を提供するHomeModプログラムの費用と利益の評価

シカゴ市のHomeModプログラム

シカゴ市のHomeModプログラムは、障害のある60歳未満の低所得者および中所得者に住宅の改修を提供しています。このプログラムの財政的支援の70%以上は、HUDが管理するコミュニティ発展包括的補助金(CDBG)プログラムからのものです。

研究には3つの目的がありました

- ❖ 費用と利益を調べて、プログラム参加者へのサービスに対する政府の将来の費用を節約できるかどうかを判断する
- ❖ CDBG資金援助活動の定量化可能な結果測定値を確認するために必要な方法とデータタイプを実証する
- ❖ これらの財政的支援の効率性またはコミュニティへの影響の証拠を示す

所見

改修により、プログラム参加者の2.5~4.6%が支援を受ける生活施設への移動を5年間延期できる場合、またはプログラム参加者の0.5~1.0%が介護施設への移動を8年間延期できる場合、プログラムは、改修に支払った費用以上に回避した費用で、政府費用をさらに節約します(その他の潜在的な費用節約利益は考慮しない)。



公営住宅のアクセス可能性に関する議会への報告書

議会による要請

下院と上院の歳出予算委員会、下院の金融サービス委員会、上院の銀行、住宅、都市問題に関する委員会に、1991年の公正住宅法で参照されているように、1991年以前に建設された公営住宅ストックを含む連邦アクセス可能性基準を遵守して、全国の公営住宅ストック量を評価するために何が必要なのかを確認した報告書を提出する。

報告書には以下が含まれます：

- ❖ HUDの補助金提供世帯間のアクセス可能性機能に対する必要性のレベル
- ❖ 公営住宅および補助金付き住宅のアクセス可能性に関する現在の知識の要約
- ❖ アクセス可能性を修正する際の費用、利益、潜在的な費用削減、予想される課題
- ❖ アクセス可能性に関連する公営住宅への非政府投資の機会
- ❖ 以下の研究デザイン：
 - 公営および私有の補助金付き住宅のアクセス可能性の完全な評価
 - この住宅が既存の公正な住宅要件を遵守するための費用

報告状況

報告中



ありがとうございました！

Regina C. Gray
Jagruti D. Rekhi
低価格住宅研究技術課

政策開発研究室
HUDUser.gov

regina.c.gray@hud.gov
jagruti.d.rekhi@hud.gov

